

伊豆地域①

タイトル	「まちなり」レンタサイクルと周遊バスの統合システム		
取組地域	金沢市	実施者	【実施主体】 金沢市
実施時期	2007年～		【運営主体】 株式会社日本海コンサルタント
			【システム提供】 株式会社ドコモバイクシェア
			【周遊バス運営】 北陸鉄道
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢市の周遊促進策の中核となっているのが、公共レンタサイクル「まちなり」と「金沢周遊バス」を組み合わせた交通システム ・2023年度の利用実績は年間約20万回、訪日外国人の利用が全体の約35%を占めるなど、国内外の観光客に広く浸透している。特に訪日外国人観光客からは、自転車で巡ることで金沢の路地裏や生活文化に触れられると好評である。 <p>※「金沢周遊バス」は周遊バスの乗り放題とレンタサイクル利用、主要観光施設の割引がセット</p>		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちなり」は2007年に日本初の本格的コミュニティサイクルとして導入され、現在市内に24カ所のサイクルポートを設置。24時間利用可能で、最初の30分は165円という手頃な料金設定となっている。 ・特筆すべきは、2016年から導入された「まちなりパス」で、これにより <u>周遊バスとの乗り継ぎがスムーズ</u>になった。このパスは1日券(700円)、2日券(1,200円)の2種類があり、<u>バス停から離れた観光スポットへのラストワンマイルの移動手段として機能</u>している。 ・2018年度からは両者を組み合わせた「金沢周遊バス」(1日券1,000円、2日券1,600円)も発売され、1日あたり平均800枚以上が売れる人気商品となっている。このパスにより、広範囲な市内エリアをストレスなく移動できる環境が整う。 ・<u>荷物の預かりと配送サービスもある</u> 基本料金：300円 営業時間 9:00～8:00 		
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「金沢周遊バス」により広範囲な市内エリアをストレスなく移動可能 ・2023年度の利用実績は年間約20万回、訪日外国人の利用が全体の約35%を占めるなど、国内外の観光客に広く浸透している。 ・訪日外国人観光客からは、自転車で巡ることで金沢の路地裏や生活文化に触れられると好評である。 ・2020年からは「金沢まちあるきマップ」として、「職人の技を感じるルート」「加賀百万石の歴史ルート」など、テーマ別の7つの周遊ルートも整備。各ルートは徒歩と公共交通機関を組み合わせた所要時間3～4時間の設計で、半日観光から1日観光へと滞在時間の延長を促している。 		
参考資料 URL	<p>○金沢市観光公式サイト 城下まち金沢周遊バス https://www.kanazawa-kankoukyoukai.or.jp/access/detail_50077.html</p> <p>○Pokke 地域周遊施策の成功事例4選 https://studio.pokke.in/report/4-Successful-Cases-Regional-Tour-Policy-Measures#index_l4QgTuiI</p> <p>○まちなり https://www.machi-nori.jp/about/</p>		

パーソナルモビリティ等の活用に関する他県事例

静岡県内の 他地域展開 の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光資源がバス路線から離れている地域では有効である。 ・ 荷物の預かりと配送サービスもあるので、観光客の利便性が向上する。
実現に向け た留意点	特になし

関連図面等

■まちなり「会員プラン」

- ・ アプリを使って自転車の貸出、予約ができる
- ・ 一度会員登録すれば、利用したい時にすぐに使えて便利（既に他エリアで「ドコモ・バイクシェア」のアプリ会員になっている方はそのまま使える）
- ・ 時々利用する場合は「1回会員」、毎日のように利用する場合は「月額会員」がおすすめ
- ・ お支払いはクレジットカード（デビットカード不可）またはキャリア決済（ドコモ払い）
- ・ まちなり事務局では手荷物をお預かりするサービスを実施

1回会員 最初の30分： 165円/回 30分を超えるごとに165円ずつ追加 <ul style="list-style-type: none"> ・ ちょっとした移動に便利 ・ 他の交通手段と組み合わせて利用しやすい 料金・利用方法を見る	月額会員 基本料金： 1,650円/月 30分を超えるごとに165円ずつ追加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日のように利用する方におすすめ ・ 30分以内の利用であれば基本料金のみで利用可能 料金・利用方法を見る
---	--

NEW 学割プラン

基本料金：**990円/月**

30分を超えるごとに165円ずつ追加

- ・ 学生限定のお得な月額プラン
- ・ まちなり事務局で手続きが必要（平日営業時間のみ）
- ・ 支払いはクレジットカードまたはドコモ払い

料金・利用方法を見る

※表示価格は税込

ホテルから手ぶらでおかけ。

LUGGAGE MOVER

- ホテルから手ぶらで観光
Handluggage travel is possible from the hotel.
- 時間を有効活用
No need to lug around luggage.
- 駅までの移動・ロッカー代を節約
No need to search for lockers at the station and save money on locker's fee.

預ける
※事前10時まで

宿泊先のHOTEL

- ・ ロビーにて簡単手続き
- ・ チェックアウト後にそのまま観光地へ行くことができます

荷物も駅前に配送

受け取る
※16時から18時まで

まちなり 金沢駅前

- ・ 荷りに荷物を引き取ってそのまま金沢駅からお帰りができます

駅までの移動費 ロッカー費用より安いね！

ロッカーが埋まって使えないかも

手ぶらで便利！

そのまま観光に行けて時間が節約！

※預けられるホテルにより時間が変わることがあります。事前に各ホテルのフロント等で確認ください。

利用料金	荷物1個 700円 宿泊先のホテルで手続きを行い、まちなり事務局にて荷物を受け取ります。
提携ホテル	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・ 金沢東急ホテル <li style="width: 50%;">・ ホテルリソルトトリニティ金沢 <li style="width: 50%;">・ すみよしや旅館 <li style="width: 50%;">・ 金沢ニューグランドホテル <li style="width: 50%;">・ 町家レジデンスイン <li style="width: 50%;">・ SAIK <li style="width: 50%;">・ 隠町 <li style="width: 50%;">・ くらぼろ <li style="width: 50%;">・ 武家屋敷しをり <li style="width: 50%;">・ 武家屋敷はなつめ <li style="width: 50%;">・ かがび <li style="width: 50%;">・ OMOS金沢片町 <li style="width: 50%;">・ 金澤湯涌温泉 百楽荘 <li style="width: 50%;">・ ホテルマイステイズ金沢片町 <li style="width: 50%;">・ HOTEL AO KANAZAWA

○まちなり

<https://www.machi-nori.jp/about/>

パーソナルモビリティ等の活用に関する他県事例

伊豆地域②

タイトル	コンビニ等民間施設との連携によるバス待合所「バスまちば」の整備		
取組地域	岐阜県岐阜市	実施者	岐阜市、民間施設、岐阜乗合自動車(株)、岐阜市総合交通協議会が連携
実施時期	2025年		
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を軸とした持続可能なまちづくりの実現のため、公共交通を利用できる環境整備としてバス待ち環境を整えた。 ・<u>バス停近くの店内で、天候を気にすることなくバスの接近情報を確認しながら、快適にバスを待つことが可能</u>である。 ・岐阜市では令和4年度より中部地方初の取り組みとして開始し、民間企業（コンビニ等）と連携し、「バスまちば」という取組で対象店舗を拡大してきた。 ・令和7年度は、新たに岐阜信用金庫、株式会社バローホールディングスと協定を締結する。 		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停近くにある店舗等の屋内にバス接近情報を表示するデジタルサイネージ等の設備を設置する。 ・一部店舗等では、<u>バス利用者専用の駐輪場を整備</u>し、公共交通の利用促進を図る。 <p>【令和7年度の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜信用金庫うずら支店においては、店舗の軒下スペースに「待合ベンチ」を整備し、外（軒下スペース）から見える位置に「バスの案内表示器」を設置。 		
取組効果	-		
参考資料URL	<p>○岐阜市公式HP バスまちば https://www.city.gifu.lg.jp/kurashi/douro/1002587/1029763.html</p> <p>○岐阜信用金庫 「岐阜市バスまちば」事業への参画について https://www.gifushin.co.jp/assets/pdf/release/20251121g.pdf</p> <p>○バスマガジン バスのりばではなくて「バスまちば」ってなに？ 正体が衝撃すぎ https://busmagazine.bestcarweb.jp/feature/bus-information/174666</p>		
静岡県内の他地域展開の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・雨風をしのげないバス停が多いので、コンビニやスーパー等がバス停付近にあれば、利用者の利便性向上を図ることができる。 ・各店舗に、パーソナルモビリティを配置できれば、モビリティハブとしても機能する。 		
実現に向けた留意点	特になし		

関連図面等

事業概要



新規参画企業における開設店舗での取り組み

1 岐阜信用金庫 うずら支店

・バス待合用ベンチの設置

・屋外向けバス案内表示器の設置



2 スーパーマーケットバロー 都通店

・バス待合用ベンチの設置

・屋内・屋外向けバス案内表示器の設置



出典：岐阜信用金庫 「岐阜市バスまちば」事業への参画について

<https://www.gifushin.co.jp/assets/pdf/release/20251121g.pdf>

パーソナルモビリティ等の活用に関する他県事例

伊豆地域③

タイトル	ENEOS マルチモビリティステーション		
取組地域	東京都世田谷区	実施者	【主体】ENEOS ホールディングス株式会社 【サービス運営会社】 株式会社 Luup、Open Street 株式会社、 株式会社 G a c h a c o
実施時期	2023 年 2 月		
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ラストワンマイルの移動における変革を目指し、複数の電動モビリティおよび電動二輪向けバッテリーのシェアリングサービスを提供している。 ・多種のマイクロモビリティを配列し、地域に向けたコミュニケーションの場になることを意図している。 ・東京都への超小型 EV シェアのステーション開設は今回が初である。 		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>複数モビリティ(電動キックボード等)を一拠点で利用可能</u>である。 ・スマートフォンアプリで予約・決済が可能なキャッシュレス対応である。 		
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺で<u>複数のモビリティを利用できることにより、公共交通機関ではカバーしきれないラストワンマイルの利便性向上につながる。</u> ・複数のモビリティを組み合わせることで、観光地の回遊性向上となる。 		
参考資料 URL	<p>○ENEOS ホールディングス株式会社 ニュースリリース ENEOS がマルチモビリティステーションを開設します！ https://www.hd.eneos.co.jp/newsrelease/upload_pdf/20230125_01_01_0906370.pdf</p> <p>○ミライコラボ 東京初進出！ENEOS マルチモビリティステーション体験レポート https://miraicolabo.willsmart.co.jp/article/6807/</p>		
静岡県内の他地域展開の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ラストワンマイルの選択肢を広げている好事例である。 ・複数のパーソナルモビリティが導入されている地域では、拠点を集約できれば、利用者の利便性が向上する。 		
実現に向けた留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のパーソナルモビリティ提供事業者との調整が必要である。 ・複数モビリティの保管場所を集約する場合には、広い用地が必要となる。 		

パーソナルモビリティ等の活用に関する他県事例

関連図面等

■ステーションのイメージ



photos©Nacasa & Partners Inc. NAKAMICHI ATSUSHI

■サービス内容

シェアリングサービス	台数	サービス名称	運営会社
電動キックボード	6台	LUUP	株式会社 Luup
電動アシスト自転車	6台	HELLO CYCLING	Open Street 株式会社
電動スクーター	6台	HELLO MOBILITY	
電動小型自動車	2台	HELLO MOBILITY	
電動二輪バッテリー交換機	1基 * バッテリー 10個	Gachaco	株式会社 Gachaco



・ダウンロードリンク : <https://luup.onelink.me/Myjb/cfcdb04a>
 ・電動キックボードに関するご利用ガイド :
<https://luup.zendesk.com/hc/ja/sections/1500001008561>





シェアサイクルプラットフォーム





スクーター・小型EVシェア





電動二輪車バッテリーを街中で自由に交換できるステーション(Gachacoステーション)を東京・大阪にて展開中。HELLO MOBILITYのスクーター用バッテリーも本ステーションで交換可能です。

<ご利用に関するお問合せ先>
<https://gachaco.co.jp/contact>



出典：ENEOS ホールディングス株式会社 ニュースリリース

ENEOSがマルチモビリティステーションを開設します！

https://www.hd.eneos.co.jp/newsrelease/upload_pdf/20230125_01_01_0906370.pdf

パーソナルモビリティ等の活用に関する他県事例

伊豆地域④

タイトル	九大学研都市駅前を拠点としたモビリティハブ事業		
取組地域	福岡市	実施者	【実施主体】九州電力（株） 【運行主体】合同会社 MobiValet、（株）MobiValet、ラクする 【共創パートナー】昭和自動車（株）、（株）AMANE、合同会社 MobiValet
実施時期	2025年1月 (実証実験)		
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・九大学研都市駅前周辺は、九州大学移転に合わせたまちづくりなど、新しい市街地が形成され移住者が増加し人口集積が進んでいく中で、人口減少や少子高齢化、公共交通の減少などの問題が顕著に生じている地域である。 ・一方、九州大学伊都キャンパスや北崎エリアへの移動拠点となっており、観光地への自動車利用を起因とした交通混雑等が課題として挙がっている。 ・主に、鉄道やバス停留所の周辺、移動が不便な住宅地などに、レンタサイクルや電動スクーターシェアリングなどの貸出し拠点を集約し、移動の選択肢を提供しながら新しいライフスタイルを創出する取り組みである。 ・当該事業は、<u>既存公共交通とモビリティハブの共存</u>を図り、<u>持続可能な地域交通ネットワークを担うもので、バス事業者が抱える課題（利用者低迷、運転士不足、ピーク時混雑等）対応の一助</u>となる取組み。 ・モード：レンタサイクル、電動スクーターシェアリング ・予約方法：WEB サイト、窓口 ※レンタサイクル、EV スクーター ・料金：600 円/2 時間～ 		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域の交流拠点となるモビリティハブとして</u>、シェアリングモビリティに加えて<u>コワーキングスペースやポップアップショップ等の拠点を集約</u>している。 ・福岡市の公共交通の持続性向上と地域課題の解決に向けて路線バスに加えて、ライフスタイルに応じた3種類のモビリティ（通勤・通学用レンタサイクル、観光用レンタサイクル、EVスクーター）を提供している。 ・資金面：<u>昭和自動車保有の土地・建物を継続的に有効活用九州電力で、事業運営に係る全体調整及び環境整備等を担当</u> ・人材面：<u>運営実績を有する株式会社 AMANE</u>と九大学研都市駅前周辺の地域の特色を把握している <u>MobiValet 合同会社</u>で、<u>モビリティハブ事業の運営を担当</u> 		
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクルは、歩くには遠く、路線バスでは行きにくい場所への移動に便利との声が多くあり、路線バスの補完的な役割を担っていることが伺える。 ・バスの待ち時間の負担が減ったと回答した人がバス利用者で「86%」、うち「36%」の方が待合所の整備により快適になったと回答している。 ・<u>バス待合所の更なる機能拡充</u>により、バス利用者の待ち時間の有効活用や地域住民の移動機会創出に寄与する。 ・ライトモビリティの整備により、利用者の移動手段の選択肢を増やし、アクセス自由度を向上させることで、北崎エリアの活性化や自動車利用抑制が期待できるとともに、特定時期においてバス路線に集中する観光客の分散に寄与することが期待できる。 ・<u>地域の情報発信</u>を行うことで、<u>観光地や地域事業者の認知を促し、来訪者の公共交通の利用機会を醸成</u>する。 ・路線の特性を踏まえた<u>最適な運行改善に資するデータを取得、整理し、バス事業者の路線の維持・活性化施策の一助</u>とする。 		
参考資料 URL	<ul style="list-style-type: none"> ○国土交通省 「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト https://kotsu-kuhaku.jp/adopter_6/kyousou/report/kyushu28.pdf ○九大学研都市駅前を拠点としたモビリティハブ事業 https://kotsu-kuhaku.jp/adopter_6/all-list/report/kyushu28.pdf 		

パーソナルモビリティ等の活用に関する他県事例

伊豆地域⑤

タイトル	ラクティボ		
取組地域	－	実施者	【開発】株式会社山田製作所
実施時期	2024 年発売 2025 年 10 月山中湖導入 2025 年 10 月 前橋市試乗会 2025 年 9 月 芳賀町試乗会		
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・免許不要な特定小型原動機付自転車（4 輪、バスケットがつけられる）。 ・<u>自動車免許返納後の高齢者の移動手段などとして提案している。</u> ・2025 年 10 月「LScamp 山中湖」で、<u>キャンプ場内でのお客様の移動</u>やスタッフの作業をサポートするために導入している。 		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・走行モード時の<u>最高速度は時速 12km、歩行モード時は同 6km</u> ・<u>車載バッテリーは 7 時間でフル充電</u>でき、<u>航続距離は 30km</u> ・現在は実証実験段階であり、公道走行の事例はない。ただし、<u>ナンバープレートの取得と自賠責保険に加入</u>により、<u>特定小型原動機付自転車</u>として走行可能 ・<u>登坂能力は勾配 10 度程度</u> 		
取組効果	－		
参考資料 URL	<p>○ラクティボ MICROMOBILITY https://yamada-lactivo.com/</p> <p>○ニュースイッチ(日刊工業新聞) 1 人乗り小型電動 4 輪、山田製作所が来夏発売予定 https://newswitch.jp/p/38555</p>		
静岡県内の他地域展開の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車免許返納後の高齢者の移動手段として提案されていることから、高齢者の多い伊豆地域で有効である。 ・キャンプ場での移動実績もあるため、傾斜地の多い伊豆地域で有効である。 		
実現に向けた留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・公道での走行実績がないため、実証実験等で実用性を確認する必要がある。 		

関連図面等

■ラクティボ概要



【Lactivo ラクティボ／特定小型原動機付自転車】

車両区分	特定小型原動機付自転車	フレーム	オールアルミボディ
全長	1300mm	バッテリー種類	リチウムイオンバッテリー
全幅	560mm	充電時間	約6～8時間 ※3
全高	1095mm	対象年齢	16歳以上（免許不要）
車両重量	41kg	最大耐荷重	100kg（荷物含め）
最高速度 ※1	12km/h 6km/h（※2 特例特定原付） （2段階の走行モード搭載）	乗車定員	1名
モーター	350W	ヘルメット	努力義務
タイヤ	10インチ		
航続距離	約30km（フル充電時） ※1		

¥348,000（税込）

※1：最高速度・航続距離は気象、道路条件、積載重量などの諸条件によって変わります。

※2：6km/hモードは歩道の普通自転車通行指定エリアが走行可能となります。

12km/hモードの時に6km/h以下で走行しても歩道の普通自転車通行指定エリアなどは走行できません。
詳しくは「[交通ルールについて](#)」のページをご確認ください。

※3：充電時間は気象や使用年月、バッテリー残量により変わります。

※予告なく仕様が変わる場合があります。

出典：ラクティボ | MICROMOBILITY <https://yamada-lactivo.com/>